

環境保全・安全衛生活動の歩み

History of Environmental and Safety Initiative

2011
ENVIRONMENTAL
REPORT



| | |
|-------|---|
| 1968年 | 「日本製薬工業協会」設立 工場周辺の公害問題(主に排水問題)に対する技術検討を目的に「周辺技術連絡会」を設置 |
| 1978年 | 周辺技術連絡会を「工場排水規制処置検討会」に変更 |
| 1979年 | 関係官庁と連携し、行政の伝達、業界の意向を具申するとともに、業界内相互の情報交換、会員相互の環境対策の確立を目的に「環境対策検討会」を設置 |
| 1996年 | 「環境委員会」を設置し、内部に5部会(企画部会、化学物質部会、環境マネジメント部会、省資源・廃棄物対策部会、省エネ・温暖化防止部会)を設け、地球環境問題に体系的な取り組みを開始。有害化学物質(ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、クロロホルム)の第一期大気排出量削減計画を策定 |
| 1997年 | 経団連環境自主行動計画フォローアップに参加し、CO ₂ 排出削減目標を設定。会員企業におけるエネルギー使用量実態調査を開始 |
| 1998年 | 廃棄物の排出量、最終処分量削減に関する行動計画を策定 |
| 1999年 | 製薬協の環境問題への取り組みを明示した「製薬企業環境自主行動指針」を策定。環境報告書を発行 |
| 2001年 | 5部会を4部会(化学物質管理部会、環境マネジメント部会、省資源・廃棄物対策部会、省エネ・温暖化防止部会)に再編し、新たに企画会議を設置。有害物質の第二期大気排出量削減計画を策定 |
| 2002年 | 活動を労働安全衛生にも拡大し、「環境安全委員会」に名称変更。部会を超えた活動の場として、「研究会」を設置 |
| 2003年 | 廃棄物の最終処分量削減目標の見直し(削減率を70%から80%に強化) |
| 2005年 | 有害物質(ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、クロロホルム)の第三期大気排出量削減計画を策定 |
| 2006年 | 廃棄物削減に関する行動計画に最終処分量に加えて、最終処分率、廃棄物発生量の数値目標を追加 |
| 2008年 | 4部会(化学物質管理部会、環境マネジメント部会、省資源・廃棄物対策部会、省エネ・温暖化防止部会)を3部会(環境部会、安全衛生部会、地球温暖化対策部会)に再編 |
| 2010年 | 2020年度を最終年度とした経団連低炭素社会実行計画への参加、CO ₂ 排出削減目標を決定。 また、2015年度を最終年度とした経団連「環境自主行動計画(循環型社会形成編)」における2011年度以降の目標を決定 |

自主行動計画の歩み

| 取組分野 | 計画作成年度 | 行動計画の内容 | 達成年度 |
|----------------------------|-------------------|--|--------|
| 省資源・ 廃棄物対策 | 2001年度 (第1期計画) | 最終処分量:1990年度比-70% | 2002年度 |
| | 2003年度 (第2期計画) | 最終処分量:1990年度比-80% | 2005年度 |
| | 2006年度 (第3期計画) | 最終処分量:2010年度において1990年度比-80% 最終処分量:2010年度において5%以下 廃棄物発生量:2010年度において1990年度比10%削減 | 2007年度 |
| | 2010年度 | 最終処分量:2015年度において2000年度比-65%程度 | 計画作成 |
| 化学物質管理 一大気への排出 抑制対策一 | 1996年度 (第1期計画) | ジクロロメタン:1995年度比-30% 1,2-ジクロロエタン:1996年度比-30% クロロホルム:1996年度比-30% | 2000年度 |
| | 2001年度 (第2期計画) | ジクロロメタン:1995年度比-60% 1,2-ジクロロエタン:1996年度比-50% クロロホルム:1996年度比-30% ホルムアルデヒド:排出抑制努力 ベンゼン:排出抑制努力 テトラクロロエチレン:排出抑制努力 アクリロニトリル:排出抑制努力 | 2004年度 |
| | 2005年度 (第3期計画) | ジクロロメタン:2003年度比-20% 1,2-ジクロロエタン:2003年度比-20% クロロホルム:2003年度比-20% | 2007年度 |
| 地球温暖化対策 | 1997年度 | 2010年度のCO ₂ 排出量を1990年度以下に抑制 | 継続中 |
| | 2010年度 | 2020年度のCO ₂ 排出量を2005年度比で23%削減 | 計画作成 |

製薬協環境安全委員会組織体制

| | | | | | |
|----------------|-------|--------|-----------|-------|----------------------|
| 製薬協 環境安全委員会 | 企画会議 | 委員長 | | 田坂 昭弘 | 武田薬品工業株式会社 |
| | | 副委員長 | | 竹縄 誠之 | アステラス製薬株式会社 |
| | | | | 錦見 端 | ファイザー株式会社 |
| | | | | 小林 智 | 第一三共株式会社 |
| | 運営委員会 | 環境部会 | 部会長 | 登坂 晃之 | 中外製薬株式会社 |
| | | | 副部会長 | 小林 智 | 第一三共株式会社 |
| | | | 副部会長 | 高岸 雅行 | 塩野義製薬株式会社 |
| | | 安全衛生部会 | 部会長 | 錦見 端 | ファイザー株式会社 |
| | | | 副部会長 | 横井 博嗣 | 旭化成ファーマ株式会社 |
| | | | 地球温暖化対策部会 | 部会長 | 竹縄 誠之 |
| | | 副部会長 | | 谷口 順一 | 大塚製薬株式会社 |
| | | 副部会長 | | 山本 潤 | 第一三共株式会社 |
| | | 運営委員 | | 大井川 猛 | Meiji Seika ファルマ株式会社 |
| 事務局 | | 草井 章 | 日本製薬工業協会 | | |

日本製薬工業協会 会員企業(あいうえお順)2011年11月現在69社

| | | |
|------------------|---------------|----------------------|
| 旭化成ファーマ株式会社 | 塩野義製薬株式会社 | 日本臓器製薬株式会社 |
| 味の素製薬株式会社 | 生化学工業株式会社 | 日本たばこ産業株式会社 |
| あすか製薬株式会社 | ゼリア新薬工業株式会社 | 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 |
| アステラス製薬株式会社 | セルジーン株式会社 | ノバルティス ファーマ株式会社 |
| アストラゼネカ株式会社 | 千寿製薬株式会社 | ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 |
| アボット ジャパン株式会社 | 第一三共株式会社 | バイエル薬品株式会社 |
| エーザイ株式会社 | 大正製薬株式会社 | バクスター株式会社 |
| MSD株式会社 | 大日本住友製薬株式会社 | 久光製薬株式会社 |
| 大塚製薬株式会社 | 大鵬薬品工業株式会社 | ファイザー株式会社 |
| 小野薬品工業株式会社 | 武田薬品工業株式会社 | 藤本製薬株式会社 |
| 一般財団法人化学及血清療法研究所 | 中外製薬株式会社 | 扶桑薬品工業株式会社 |
| 科研製薬株式会社 | 帝國製薬株式会社 | ブリストル・マイヤーズ株式会社 |
| キッセイ薬品工業株式会社 | 帝人ファーマ株式会社 | 株式会社ポーラファルマ |
| 京都薬品工業株式会社 | テルモ株式会社 | マイラン製薬株式会社 |
| 杏林製薬株式会社 | トーアエイヨー株式会社 | 丸石製薬株式会社 |
| 協和発酵キリン株式会社 | 東レ株式会社 | マルホ株式会社 |
| グラクソ・スミスクライン株式会社 | 富山化学工業株式会社 | 株式会社ミノファージェン製薬 |
| クラシエ製薬株式会社 | 鳥居薬品株式会社 | Meiji Seika ファルマ株式会社 |
| 興和株式会社 | 日本イーライリリー株式会社 | 持田製薬株式会社 |
| サノフィ・アベンティス株式会社 | 日本化薬株式会社 | 株式会社ヤクルト本社 |
| 参天製薬株式会社 | 日本ケミファ株式会社 | ヤンセン ファーマ株式会社 |
| 株式会社三和化学研究所 | 日本新薬株式会社 | ユーシービー・ジャパン株式会社 |
| ジェンザイム・ジャパン株式会社 | 日本製薬株式会社 | わかもと製薬株式会社 |